

主 文

本件各上告を棄却する。

理 由

被告人Aの弁護人小河虎彦の上告趣意は、違憲をいうものと解されるが、憲法の条項の明示を欠き、被告人Bの弁護人高井昭美の上告趣意は、量刑不当の主張であつて、いずれも刑訴法四〇五条の上告理由にあたらない。また、記録を調べても、同法四―一条を適用すべきものとは認められない。

よつて、同法四―四条、三八六条一項三号により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四七年六月一四日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	岡	原	昌	男
裁判官	色	川	幸	太 郎
裁判官	村	上	朝	一
裁判官	小	川	信	雄